

電波時計 取扱説明書 (デジタル音声目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元

リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

(Y2210)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

(フリーダイヤル)
お問い合わせ先 お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。例 8RZ000

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠️ 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

! 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

! 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、電池について次のことを守る

- 傷をつけない。
- ショートさせない。
- 加熱しない。
- 分解しない。
- 充電しない。
- 火の中に入れてない。

! 梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。

⚠️ 注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

! 電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

! 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

! 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

! めれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

! 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

! 液晶から漏れた液に素手でさわらない
破損で漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。

! 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

! 下記のような場所では使わない
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- 温度が－10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。
(例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

電池の寿命について

- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。
- 買い置きの電池は、保管状態や電池の使用推奨期限により、電池寿命が短くなるがあります。

電池・時計の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、リセットを押してください。

GUARANTEE
保証書

※印は販売元記入

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参ください。無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

※販売店印(住所、店名、電話番号)

TEL() -

- ネット通販をご利用の場合は、レシートや領収書を添付してください。
- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご購入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について ※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)
8. 電池の交換

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

おもな製品仕様

使用温度範囲 -10～50℃ 液晶表示可読温度範囲 0～40℃
時間精度 表示精度 標準電波受信成功直後 ±1秒
標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(常温中のクォーツ精度)
推奨電池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格LR6 2個
電池寿命 約1年(アラームを30秒/日、照明を3秒/日、報時 音量小で24回/日、カレンダー・時刻自動修正)
標準電波
受信局 福島局/九州局 自動選択
受信機能 ボタン操作でON/OFF切り替え
受信回数 8回/日
受信時刻 1時～4時、13時～16時の各時間帯の16分40秒から受信開始
手動時刻合わせ ボタン操作

アラーム精度 表示時刻に対して±0秒
アラーム時刻 2つの時刻設定
アラーム音 電子音+音声(日付、曜日、時刻)
スヌーズ アラーム音が約5分間の一時停止
オートストップ アラーム音が連続2分まで自動停止
照明 ライトボタンを押してから約3秒間 照明
防滴防塵機能 なし
時報機能 毎正時に音声告知
カレンダー 2009～2069年まで対応
温度表示 表示範囲 -9.9～+50℃
表示範囲での精度 ±2℃
音声ガイド 音声合成
ON/OFF スイッチ操作

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。
※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 取扱説明書・保証書 本書

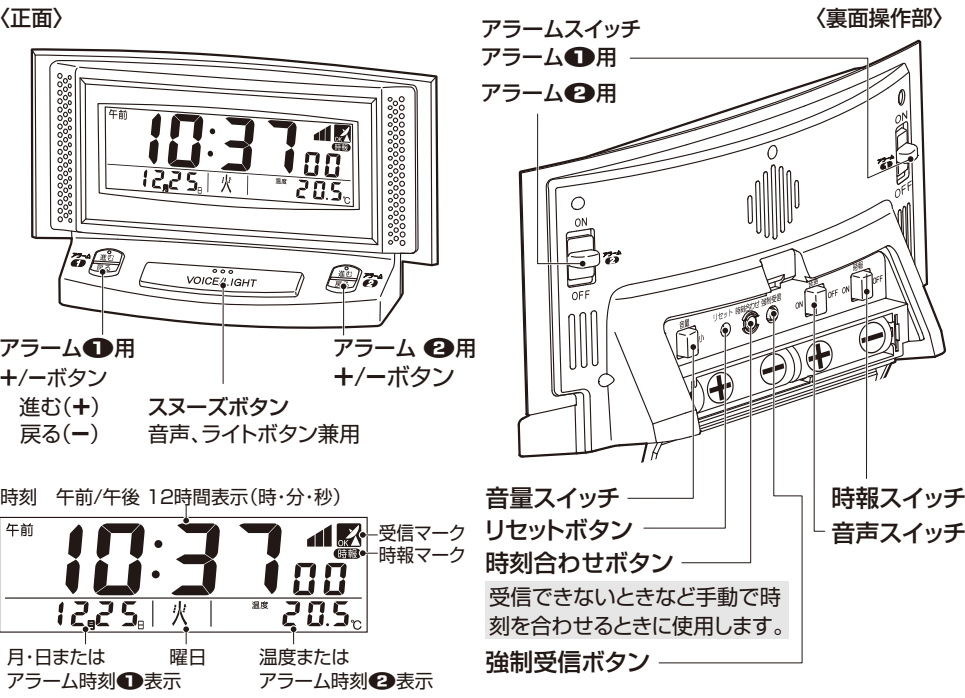
CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなら責任を負いかねますのでご了承ください。

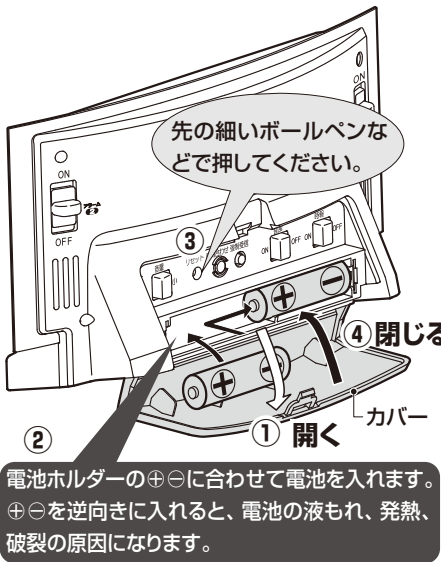
電池は付属していません。単3形アルカリ乾電池を2個ご用意ください。

1 電波を受信して時刻を合わせる

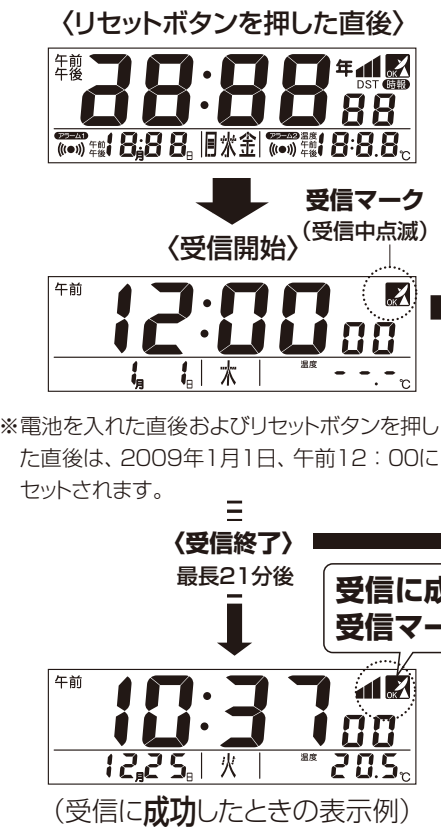
図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



液晶表示は見る角度によって、見えにくくなったり、ムラに見えることがあります。



【受信の流れと表示】



※受信マークは受信成功後、24~25時間点灯。
※受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときには、リセットボタンを押して再度受信を試みてください。

アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてからリセットボタンを押して再度受信を試みてください。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える / 受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面が電波送信所になるべく向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

受信できない場合は、下記の操作で日付、時刻を設定することができます。

■ 手動での時刻合わせ

- (1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。
- (2)西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。
 - 進む(+)または戻る(-) ボタンを押して数値を合わせます。
 - 進む(+)または戻る(-) ボタンを押すつづけると速く変わります。
 - 時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。

※電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功するとカレンダーと時刻を修正します。

※約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、手動時刻合わせを終了します。
※電波を受信できないときの時間精度は、平均月差±30秒になります。

A 強制受信とリセット操作

強制受信ボタン

場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。受信に失敗した場合でも日付・時刻表示を継続します。

- 受信機能が無効のときは、機能しません。
- 手動で時刻合わせをしているときやアラーム時刻を合わせているときは機能しません。

B 電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF(無効にして手動で時刻を合わせる)

リセットボタンを約1秒間隔で3回押ししてください。

- 「ピー」と鳴ったらすぐに押してください。
- 受信機能がOFFになると「ピー」と鳴りません。
- 年月日と時刻は手動で合わせてください。

◎操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

◎工場出荷時の設定は、電波受信機能は有効(ON)になっています。

受信機能 ON(有効にして受信を開始する)

ーボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピー」と鳴って受信を開始します。その後ーボタンを離してください。

- 定期的な受信して標準時刻に合わせます。

●アラーム中およびアラーム時刻が点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても、切り替わりません。

●アラーム中およびアラーム時刻が点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても、切り替わりません。

2 アラーム機能の使い方

アラーム ① と ②、2つのアラームを使用することができます。

アラーム時刻を設定するときやアラームのON/OFFを切り替えるときには、アラーム ① ② それぞれの進む(+)/戻る(-)ボタン、アラームスイッチを使い分けてください。

●スヌーズボタンは ①② 共通です。

●アラームの時刻合わせの操作は ① と ② を同時にできません。

▶2つのアラーム時刻が重なったときは、① が優先されます。

▶アラームが鳴っているときに、もう一方のアラーム時刻になったときは、後からのアラームが鳴り、スヌーズ機能とアラームオートストップ機能は、後のアラーム時刻が対象になります。

◆操作説明の例は、アラーム ① を使用しています。

アラーム時刻の合わせ方

〈表示例〉アラームスイッチ①②がOFFのときに、アラーム ① のアラーム時刻を設定。



進む(+)ボタン
戻る(-) ボタン

操作するときには、アラーム ①② それぞれに対応した+/-ボタンを使用してください。

- ①+またはーボタンを押す
アラーム時刻が点滅します。
- ②アラーム時刻を合わせる
+またはーボタンを押してすぐに離すと、1分進んだり戻ったりします。押しつづけると速く変わります。
- ③約7秒間ボタン操作をしないとアラーム時刻合わせを終了します。

アラームのON/OFF設定

〈表示例〉アラーム ①ON、アラーム ②OFF



アラームスイッチ ① アラームスイッチ

ON ▶(●●)アラームマーク点灯
設定時刻にアラームが鳴る

OFF▶アラームマーク消灯
アラームを止める、鳴らさない

アラームスイッチをONにすると、常時アラーム時刻を表示します。上の図では、日付が表示されていません。表示されない項目を表示させるには、アラームスイッチ ①または②を一時的にOFFにしてください。

アラームオートストップ機能.....自動鳴り止め

鳴っているアラームを約2分間放置すると停止します。

スヌーズ機能.....止めてもまた鳴る

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマーク(●●)が点滅し、アラームが約5分間停止後、また鳴りだします。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止してアラームマーク(●●)は点灯表示になります。

アラームご使用上の注意

アラームオートストップまたはスヌーズ操作によりアラームが自動停止しても、アラームスイッチはONのままです。不要なアラームが鳴らないようにアラームスイッチをOFFにしてください。

アラーム音について

電子音アラームにつづいて、日付、曜日、時刻を音声でお知らせします。これを3回繰り返し、その後は電子音アラームの繰り返しになります。音声スイッチがOFFでも音声でお知らせします。アラーム音を確認したいときには、アラーム時刻を現在時刻より1分程度先に合わせて、アラームスイッチをONにしてください。

3 音声ガイド

音声 ON OFF

音声スイッチをONにすると音声で日付、時刻、温度をお知らせします。また、アラームや時刻を設定しているときの状態をお知らせします。

音声スイッチがONのときの音声ガイド

スヌーズボタンを1回押す :「ピー 午前10時37分です。温度は21度です。」
※時刻は秒を読み上げません。また、温度は小数点以下を四捨五入して読み上げます。

スヌーズボタンを連続して2回押す :「ピー 12月25日 土曜日です。」
▶押す間隔が短すぎたり、長すぎると時刻と温度の音声の流れます。

そのほかの音声ガイド例

- ◇ 時報スイッチ
時報スイッチをONにする:「ピー 時報ONです。」
- ◇ 音声スイッチ
音声スイッチをONにする:「ピー」
- ◇ リセットまたは強制受信ボタン
リセットまたは強制受信ボタンを押す:「ピー 電波を受信します。」
▶リセットボタンを押したときには、5秒程度遅れて音声が流れます。
- ◇ アラーム時刻を設定または確認
アラームスイッチ①をONにする:「ピー アラーム1は午前6時20分です。」
アラーム①の+またはーボタンを押す:「ピー アラーム時刻1を合わせます。ピー アラーム1は午前6時00分です。」
アラーム時刻合わせのときに、アラーム①の+ボタンを押す:「アラーム1は午前6時20分です。」
- ◇ 手動で時刻を合わせているとき
①時刻合わせボタンを押す:「ピーピー 年を合わせます。」「ピー 2009年です。」⇒時刻合わせ開始
②+ボタンを押す:「ピー 2018年です。」 ※合わせる「年」になるまで+ボタンを押す
③時刻合わせボタンを押す:「ピー 月日 を合わせます」「ピー 1月1日 月曜日です。」
④ーボタンを押す:「ピー 12月1日 土曜日です。」
⑤時刻合わせボタンを押す:「ピー 12月1日 土曜日です。」
⑥ーボタンを押す:「ピー 12月25日 火曜日です。」
⑦時刻合わせボタンを押す:「ピー 現在時刻を合わせます。」「ピー 午前12時22分です。」
⑧+ボタンを押す:「ピー 午前10時22分です。」
⑨時刻合わせボタンを押す:「ピー 午前10時22分です。」
⑩+ボタンを押す:「ピー 午前10時37分です。」
⑪時刻合わせボタンを押す:「12月25日 火曜日 午前10時37分です。」⇒時刻合わせ終了

●アラーム時刻の設定や手動で現在時刻を合わせているときの注意
音声が流れている間に+またはーボタンを操作すると表示と音声不一致になりますが、つぎのステップに移るときや設定が終わるときには、設定内容を音声で正しくお知らせします。

音量の選択

音量 大 小

音量スイッチにより、「大」または「小」を選択できます。
※音量スイッチを操作しても、「大」「小」を告げる音声ガイドはありません。

4 時報機能

時報 ON OFF

時報スイッチをONにすると時報マークが点灯して、毎正時に音声で時刻をお知らせします。
※音声スイッチがOFFでも機能します。
※暗くなると自動停止する機能はありません。

例 午前10時のとき

「午前10時です。」と告げ、その後「ピー、ピー、ポーン」と鳴ります。
「ポーン」と鳴ったときが10時です。

5 表示面の照明

スヌーズボタンはライトボタンを兼ねています。ボタンを押すと約3秒間、液晶表示面を照明します。照明されているときには、時計正面やや上方より見てください。他の方向から見ると読み取れないことがあります。

温度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。
測定範囲を超えたときの表示とその意味
温度 [HH.H] 50℃より高温 [LL.L] -9.9℃より低温

設置場所について

- 空気がよく循環する場所に設置してください。
- 直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
- 温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
- ◎本製品は室内用です。室内の温度計測以外の目的では使用できません。また厳密な温度管理を行う用途には適していません。